

あけましておめでとうございます。

そうはいいまして国内国外に目を向ければ到底めでたいとは言い難い新年です。技術が進み人と情報の交流も盛んな時代になって何故こうなんだ、と思うことばかりです。まだしばらくは、明るい未来を展望するのが難しい時代が続くのでしょうか。ディストピア映画は映画だから面白いのであって、誰だってディストピアを望んではいけないはずなのに。

さて旧年中は、研究者としては念願の単著『現代ドイツの教育改革』（世織書房）を公刊できたことが最大の慶事。今見れば穴だらけで、もう少しやれたのではないかと思うことばかり。今年はドイツ教育政策研究の次の一步を踏み

出さねば。数年来科研をいただいて共同研究を続けてきた「中途入職教員」の研究は一段落（楽しく意義深い研究でした！）。戦後教育行政学の今日的展望を描く企画も進行中、これは自分の器に余ると思いつつも、自分の研究的人生のスタートを導いてくれた教育行政学にもう一度しっかり向き合う機会です。併任で務めている東京学芸大学附属世田谷中学校校長としては、受験業界地図では見えない学校の魅力をもっとアピールできないか、重ねて考えたいと思っています。具体的目標は記憶に残る昼礼講話&校長ブログの充実です。

個人的には、言い訳のしようのない失態もあれば声が出なくなるほど悲しい出来事もありました。それもこれも含めて、映画のヒーローには程遠い私ではあれとにもかくにも前を向いて歩いていきたい。どうぞ本年もよろしくお願いいたします。



2024年 元旦

前原健二

maehara@u-gakugei.ac.jp